

「産業保健と法」(5回シリーズ) Web開催

一般社団法人産業保健法学会の協力を得て「産業保健と法」をテーマに研修会(5回シリーズ)を実施します。

※以下、産業保健法学会ホームページ (<https://jaohl.jp/faq/>) からの引用

いま産業保健の現場を悩ませているのは、主にメンタルヘルス不調+生活習慣病などの働き方・生き方に深く関わる課題です。

こうした課題の解決は、個々の専門分野のみでは難しく、現場、個人と組織を見据えた学際的な対応が求められます。そして産業保健分野では、①法が領域をリードしている(法が産業保健業務の標準を提供している)こと、②法的紛争が起きやすいことから、「法」が重要な意味を持ちます。より本質的には、法が持つ「納得形成力」と「行為規範性(日常的な行動への影響力)」が、健康障害の予防や事後解決、健康づくりにとって重要な意味を持つということだと思われま

しかし、ただ「法」に使われていては、現場問題の解決は果たされません。「法」をつくった人の思いと使う人の思いを知り、積極的に使う技術と発想を磨く必要があります。更には、「法」の創造まで歩みを進め、納得いく職業生活を送る人々を1人でも増やすことが、この学会の取組の最終目的です。

【対象者】事業主、産業保健スタッフ、人事労務担当者等

【定員】各回50名

参加費無料

開催日	時間	講演テーマ	申込締切
9月21日(木)	14:00～ 16:00	Q&A形式で説くメンタルヘルスに関する現場問題と法	9月7日
10月17日(火)	14:00～ 15:30	健康情報の取扱いと法	10月3日
11月22日(水)	14:00～ 15:30	休復職と法 ～不調者の休・復職に関する法的留意点～	11月8日
12月15日(金)	14:00～ 15:30	産業保健職が知っておくべき法令、判例	12月1日
1月24日(水)	14:00～ 15:30	ハラスメントと法/職場環境と法	1月10日

※研修内容や講師等の研修詳細は裏面をご覧ください。

※各回ごとの申込受付ですが、可能な限りシリーズを通しての受講をお勧めいたします。

【お申込みについて】

当センターホームページの「研修・セミナー」の申込フォームからお願いいたします。

<https://www.kagawas.johas.go.jp/seminar/>

※Zoomミーティングを使用します。事前にインターネット環境等ご確認ください。



研修・セミナーページ



- ◆お申込みいただいたメールアドレスにWeb研修会のミーティング情報を送信します。研修日3日前になっても届いていない場合は、お電話でご連絡ください。
- ◆申込締切日前に「定員」に達した場合は、受付を終了させていただくことがありますのでご了承ください。
- ◆キャンセルの場合は、ご連絡をお願いいたします。

【お問合せ先】 (独) 労働者健康安全機構 香川産業保健総合支援センター

〒760-0050 高松市亀井町2-1 朝日生命高松ビル3階

TEL 087-813-1316 FAX 087-813-1317

ホームページ <https://www.kagawas.johas.go.jp/>



かがわさんぽ

開催日時	講演テーマ・内容	講師	申込締切
<p data-bbox="44 343 177 416">9月21日 (木)</p> <p data-bbox="58 451 162 507">14:00～ 16:00</p>	<p data-bbox="215 99 743 178">Q&A形式で説く メンタルヘルスに関する現場問題と法</p> <p data-bbox="215 229 893 737">以下の6点について解説します。 (1)メンタルヘルス不調を理由に勤怠不良の社員がいる。いつ出勤するか予測ができず、業務を持たせられない。どうすればよいか。(2)不調者に産業医への受診を命じられるか。(3)精神疾患の影響かどうか不明な異常な言動(奇声をあげる、気分の凹凸が激しいなど)、職務怠慢を繰り返す従業員に対して、どう対応すればよいか。また、積極的に精神疾患の診断書を提出し、わがままに見える言動を繰り返す従業員にはどう接すればよいか。(4)発達障害が疑われる従業員への対応は？(5)違法なパワハラと業務上の指導の見分け方は？(6)疾病休職からの復職後、主治医が就業可能と診断しているのに勤怠不良が継続する場合にとり得る措置は？</p>	<p data-bbox="922 343 1158 507">京阪グループ 健康推進室 産業医 泊 慶明 氏</p>	<p data-bbox="1279 389 1382 426">9月7日</p>
<p data-bbox="34 816 187 893">10月17日 (火)</p> <p data-bbox="58 928 162 984">14:00～ 15:30</p>	<p data-bbox="215 795 536 832">健康情報の取扱いと法</p> <p data-bbox="215 893 879 1042">産業医が訴訟に巻き込まれると問責されることが多い健康情報の取扱いについて、関係法令や行政が示してきた考え方の要点を示したうえで、Q&A形式で、実務上の課題への回答例を解説します。</p>	<p data-bbox="922 816 1229 1021">愛三西尾法律事務所 弁護士 メンタルヘルス/ 産業保健法務主任者 井上 洋一 氏</p>	<p data-bbox="1272 882 1390 919">10月3日</p>
<p data-bbox="34 1118 187 1195">11月22日 (水)</p> <p data-bbox="58 1230 162 1286">14:00～ 15:30</p>	<p data-bbox="215 1089 801 1168">休復職と法 ～不調者の休・復職に関する法的留意点～</p> <p data-bbox="215 1228 886 1334">メンタル不調その他の難治性疾患のり患者の休職・復職に関する法的留意点につき、関係判例等に照らして解説します。</p>	<p data-bbox="922 1118 1208 1324">弁護士法人牛見総合 法律事務所 弁護士 中小企業診断士 牛見 和博 氏</p>	<p data-bbox="1272 1203 1390 1241">11月8日</p>
<p data-bbox="34 1458 187 1535">12月15日 (金)</p> <p data-bbox="58 1570 162 1626">14:00～ 15:30</p>	<p data-bbox="215 1396 772 1433">産業保健職が知っておくべき法令、判例</p> <p data-bbox="215 1493 865 1725">産業保健活動は企業の人事労務・安全衛生部門と、医学の専門家である産業医をはじめとする医療職の連携によって進められますが、その多くは法令で規定されており、それに基づく実践が求められます。産業保健実務を的確かつスムーズに行うに際し、求められる法令等の知識について解説します。</p>	<p data-bbox="922 1504 1165 1626">産業医科大学 特命講師 増田 将史 氏</p>	<p data-bbox="1272 1545 1390 1583">12月1日</p>
<p data-bbox="44 1802 177 1879">1月24日 (水)</p> <p data-bbox="58 1914 162 1970">14:00～ 15:30</p>	<p data-bbox="215 1777 679 1815">ハラスメントと法／職場環境と法</p> <p data-bbox="215 1875 886 2024">ハラスメント、特にパワーハラスメント(モラルハラスメント)に関する法律論と実践的な予防策、解決策について、主要な裁判例を素材として実務上の留意点を学習します。また職場環境と法に関しても解説します。</p>	<p data-bbox="922 1823 1229 1987">熊井HRサポート社会 保険労務士事務所 特定社会保険労務士 熊井 弘子 氏</p>	<p data-bbox="1272 1887 1390 1924">1月10日</p>